

### 本市における口腔衛生への取組の考え方は

#### 関係機関等と連携を図り口腔衛生の向上に向けた取組を充実していきたい

清水勝 議員(市友)

歯周病などの歯科疾患は、発病、進行により食生活等に支障を来し、全身の健康にも影響を与えるものとされている。

そこで、本市における口腔衛生への取組の考え方について聞きたい。

福祉保健部長

市では、成人歯



科検診等を実施しており、今後も学校や事業所などの関係機関等と連携を図り、口腔衛生の向上に向けた取組を充実していきたい。

議員 80歳で20本以上の歯を残す8020運動を含め、今後の口腔衛生の推進施策を聞きたい。

福祉保健部長 口腔衛生の推進施策については、生涯を通じて、歯科疾患の予防等につながるものが重要であると認識して

### 市民から期待されるリーダーシップの発揮は

有事の際には、リーダーシップをより迅速かつ的確に発揮していききたいと考えている

手塚としひさ 議員(市友)

高野市政3期目のスタートに当たり、市民から期待されるリーダーシップの発揮について、市長の考えを聞きたい。

市長

有事の際には、令和元年に発生した台風19号での経験・教訓を生かして、リーダーシップを発揮し、より迅速かつ的確に対応できるよう、万一の事態に備えていききたいと考えている。

議員 新型コロナウイルス拡大について

いる。今後も意識啓発に努めるとともに、保健所等と連携して在宅歯科医療体制などの充実を図っていききたい。

### 家賃低廉化補助制度について市の考えは

#### 導入の必要性等を検討していきたいと考えている

村崎啓二 議員(市友)

平成29年に改正された住宅セーフティネット法では、住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の登録制度などが定められている。そのような登録住宅の入居者への取組として、安否確認や死亡時の家財・残置物の整理等を支援することについて、市の考えは。

生活環境部長

支援については、今後の状況によって、区や市が支援している事例を参考にしていきたいと考えている。

議員 住宅セーフティネット法の中に定められている家賃低廉化補助制度について、市の考えは。

生活環境部長 同制度を実施している自治体の効果を検証するなど、導入の必要性等を検討していきたいと考えている。

他日本スポーツ振興センター災害共済給付制度の医療費の本人窓口払いの負担軽減について

### 市民との協働で作成する市民への周知方法は

#### 広報等に掲載するなど広く周知できるように工夫していく

そなえ 邦彦 議員(自由)

市は、障がいのある方や高齢者等が安心して暮らせるような施策を展開しているが、民間の協力を得ながら、より良い高度なバリアフリー化に向けて、進展していかねければならないと思う。そのような中、市民との協働で新たなバリアフリーマップの作成に取り組んでいると聞けが、内容について聞きたい。

福祉保健部長 地図上に施設のバリアフリー情報を掲載するだけではなく、バリアフリーの意識の向上につながるような情報を掲載することを考えて

視し、誰も置き去りにしない、市民にもやさしいまちづくりの実現に向け、取り組んでいきたい。

議員 SDGsの認知度向上に向け、情報発信を行う考えは。また、国は先進的な取組を進める自治体を「SDGs未来都市」として支援しているが、市で検討する考えは。

政策総務部長 情報発信については、ホームページでの告知等が有効な手段であると考えている。SDGs未来都市については、次期市総合計画にどう位置付けるのかを検討した上で、市の取組等が基準に適合するか見極めていきたい。

市長 市民との対話を重視する。SDGsの理念を生かしたまちづくりを求め、市長が掲げる誰も置き去りにしない政策の実現に向けて、3期目となる市長の思いを聞きたい。

### スマートコミュニティの構築を目指す一歩踏み込む考えは

#### 府中基地跡地留保地の利用など今後様々な取組を進める際に留意していきたいと考えている

杉村康之 議員(自由)

今後4年間の市政運営に当たり、市長は中心市街地活性化に関し、伊勢丹府中店跡も含め、積極的にまちづくりに乗り出し

学校経営を支えるための支援員の人材確保についての考えは

高津みどり 議員(公明)

市は、平成31年2月に市立学校における働き方改革推進プランを策定し、教員の長時間労働の改善に取り組んでいるが、同プランの目標達成状況について聞きたい。

教育部長 当面の目標である週当たりの在校時間が60時間を超える教員をゼロにすることができた

学校は、小・中学校合わせ1校である。引き続き、教員の在校時間の削減に取り組んでいく。

議員 学校経営を支えるための支援員の人材確保について

地域単位でエネルギーを統合的に管理する社会の情報公開条例の「不当」の解釈・市民相手の裁判で上告する際の判断は

ても良いと思うがどうか。市長 一日も早い中心市街地のにぎわいの創出と持続的な地域経済の発展に向け、リーダーシップを発揮していきたい。

議員 市として次世代に対応したスマートコミュニティの構築を目指し、一歩踏み込む考えは。市長 身近なところにある様々なエネルギー源の複合的な活用等を検討し、府中基地跡地留保地の利用など、今後様々な取組を進める際に留意していききたいと考えている。

※スマートコミュニティ：地域福祉コーディネーターを全文化センターに配置する必要性が高まったと考えるが市の見解は

にしみや幸一 議員(市友)

令和2年1月に行われた市長選挙で、市長が公約のトップとして、文化センターを中心に福祉圏域を変更することを掲げた理由について、考えを聞きたい。

市長 近年は地域全体で相互に支え合う体制を確立すること等が求められているため、個人が地域とつながりやすく、地域の様々な主体がより連携等をしやすい体制を構築し、支え合いのまちの実現に取り組んでいきたい。

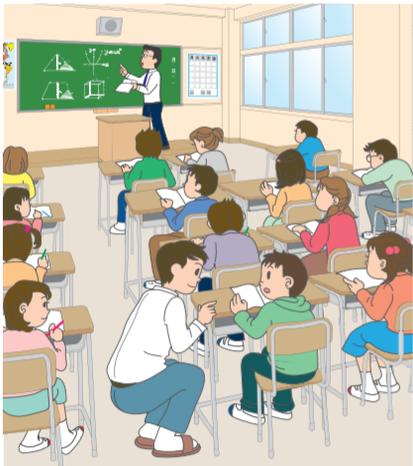
議員 福祉圏域の見直しに伴い、地域福祉コーディネーターを全文化センターに配置する必要性が高まったと考えるが、市の見解は。

福祉保健部長 地域のニーズ等を踏まえ、新たな福祉圏域の全てに配置することも見据えた効果的な配置について、社会福祉協議会等と検討していきたい。

地域福祉協議会等と検討していきたい。



▲まち歩きイベント「バリアフリーマップを作ろうin府中」



地域福祉協議会等と検討していきたい。